

なかよく 令和6年度12月号 かしこく 150th Anniversary 元気よく

令和6年12月24日 文責 黒木 幸博

終業式（明治からのプレゼント）

お菓子メーカーの明治（の株主様）から、子供たちにプレゼントがあり、株主様の代理で明導寺・藤岡さんから児童代表に寄贈されました。ありがとうございました。球磨川災害復興支援の一つということです。

さて、2024年も残り1週間です。振り返るとあっという間…という感じです。

保護者や地域の皆様、今年もお世話になりました。来年もよろしくお願いします。

**今年もお世話になりました。
来年もよろしくお願い
します。**

学校HPの紹介

子供たちの日々の活動を
紹介しています。右のQR
コードからご覧ください。



ふるさと学習の紹介

6月号で紹介しました「ふるさと学習」。地域に学び、地域を学ぶことで、ふるさとを愛する子供たちを育てることを目指しています。今回は、3年生の内容を中心に、これまでの学びを紹介します。

3年生は、食文化をテーマに学びを進めました。と同時に、カリキュラム・マネジメントの視点から、国語で学習する「すがたをかえる大豆」と関連させた内容となりました。下村婦人会を講師に招いた親子みそづくり。高瀬豆腐店の見学、そして実際に校内で大豆を育て、収穫した大豆を使った豆腐づくり。子供たちは、湯前町の食文化を学びながら、国語の学びを深掘りし、頭と体そして心で学ぶことができました。

4年生は、水土里ネットのスタッフの案内による幸野溝見学や、地域おこし協力隊を講師に招いた「まんがの町ゆのまえ」の学習。

5年生は、JAと若手農家の協力の下、定番の米作りと親子餅つき。

6年生は、町で活躍する人を招いた「きりり人」の講話や町文化遺産見学。3学期には浄心寺（城泉寺）の学習を予定。

どの学年も、「ふるさと学習」に力を入れ、湯前町を愛する心を育てています。



7月 親子みそづくり



12月 豆腐づくり

P T A改革について

12月の臨時総会（紙面）により、来年度からのP T A運営が大きく変わることが決まりました。校長として、次のことを期待しています。

○自走するP T Aになってほしい

学年委員会は2月末（学級懇談時）に、専門委員会は3月末（臨時会議開催予定）に、新旧の引継ぎを行うこととなります。分かっている人が分からない人をサポートできる協力体制になると、運営がスムーズになり、自走できるようになると期待しています。

○新しい担任は、4月の大切な時期に、子供や学級づくり、授業に集中してほしい

毎年4月、新担任が電話や家庭訪問時に「役員になってもらえないか」とお願いする場面をよく見ます。担任は、学年の大切なスタートの時期に、子供を理解したい、教室設営や授業の準備をしたい、という願いがあります。その環境が整うことを期待しています。

校長より 校長室前の【今月の言葉】

「成功と失敗を分けるたった一つの行動は、『やり続ける』こと」

i phone などをつくる会社「Apple」の創設者であるスティーブ・ジョブズ氏のことはです。

「今年は〇〇を頑張るぞ」と決意して1年が経ちます。それは今も続いていますか？そして、それは達成（成功）しますか？

この冬休み、正月がやってきます。また、「今年は△△を頑張るぞ」と決意するでしょう。決意したら、それをやり続けること！頑張らしましょう！

裏面もご覧ください。